

## デザインビジネス塾 [co-design] 入塾式を開催しました。

### 入塾式

日時：平成23年6月21日（月）午後18時30分～21時

場所：ATC(アジア太平洋トレードセンター) 10階 多目的ルーム



入塾式の開会にあたり主催者の坂下清財団法人大阪デザインセンター理事長兼デザインビジネス塾総代塾長の紹介とともに、ご来賓の皆様（近畿経済産業局 田口産業部サービス産業室長、大阪府商工労働部 杉本経営支援課課長補佐、大阪市経済局 魚井理事、大阪商工会議所 富阪流通・サービス産業部部長）のご紹介が行われました。

その後4人の塾長、間宮吉彦氏（空間デザイナー）、羽場一郎氏（プロダクトデザイナー）、山納洋氏（プロデューサー）、吉田順年氏（クリエイティブディレクター）から、塾への思いをそれぞれ語っていただきました。

**間宮吉彦塾長**：人が出会い、場をつくるのがデザインに繋がると 생각합니다。今回のビジネス塾は皆さんと場を共有し、なにかを作るために発想して、気付く「場」にしていきたいと思ひます。

**羽場一郎塾長**：クリエイティブなミーティングの仕方を体験していただくことを中心にしていきたいと思ひています。個人が社会に対してどう貢献していくかはそれぞれのアイデンティティに繋がっていきます。独自の世界を持って、役立て、それによって結果を出すことが大切だと思ひます。

**山納洋塾長**：会社のためにどのような売れる商品が作れるかということ、個人として自分が社会にデザインしてどう返すことができるのかをプロデュースの面から皆さんと半年間考えていければと思ひております。

**吉田順年塾長**：デザインの解釈を再定義して、改めて考えた方が良い時期に差し掛かっているのかもしれない。あまり難しく考えすぎずデザイナーになんが出来るのか、どうすれば良いのかと考えるきっかけになればと思ひております。



続いて今期よりアシスタントとしてお手伝いいただきますフランツ・オリバー氏(出身地/スイス)の紹介の後、坂下清 財団法人大阪デザインセンター理事長兼デザインビジネス塾総代塾長より挨拶及び塾生への問題提起がおこなわれました。次回のディスカッションではこの問題提起にあった「求められる『design』とは～デザインの価値～」について塾生・塾長で討議を深めることとしています。

その後、それぞれの塾生から1人1分程度の自己紹介と決意の表明があり、入塾式を終えました。

入塾式の後、別室で催された懇親会・交流会では塾長、塾生がこれからの思いを語るなど、予定時間を越えての会となりました。

